

平成28年度(2016年度)

管理事業名	サッカースタジアム事業				総合計画の体系	第4章 第3節	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり スポーツに親しめるまちづくり			
主な歳出 予算科目	一般会計	(款)	2	総務費	(項)	1	総務管理費	(目)	39	サッカースタジアム費
部局名	都市魅力部	予算執行所属		文化スポーツ推進室						
予算大事業名 サッカースタジアム管理事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)2 総務費 (項)1 総務管理費 (目)40 サッカースタジアム基金積立金 (大事業)サッカースタジアム基金積立金事業									
事業の目的と概要 プロサッカーや各年代のサッカー大会をはじめ、スポーツ活動や地域振興を目的とした利用等に施設を貸出することで、スポーツの推進や地域の活性化を図る。 また、災害用備蓄倉庫を設置するとともに、災害発生時には避難所や災害対策本部として活用する。										

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	成果指標の定義
プロサッカー入場者数	人	—	108,758	675,205	プロサッカーの試合(J1・3リーグ、ACL、キリンカップ、CWC、天皇杯等)の入場者数
その他入場者数	人	—	—	44,071	プロサッカーの試合以外(諸室等利用、視察、指定管理者自主事業)の入場者数
成果の説明	当該スタジアムにおいて、プロサッカーの試合を2016シーズンより本格的に実施しています。平成28年度(2016年度)については、プロサッカーの試合(J1・3リーグ、ACL、キリンカップ、CWC、天皇杯等)を合計38日行い、675,205人(平均17,769人)の方が観戦に来場されました。内訳としては、J1(ルヴァンカップ、ACL含)が26日 544,841人(平均入場者数20,955人)、J3が8日23,837人(平均入場者数2,980人)、その他国際試合及び天皇杯決勝は4日106,527人(平均入場者数26,632人)でした。 また、プロサッカー以外の入場者数は、44,071人であり、総入場者数は、719,276人でした。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常収入 小計(a)	-	3,500,276	201,068	△3,299,207
給与関係費	-	9,558	14,497	4,940
物件費	-	500,505	151,174	△349,331
維持補修費	-	335	4,838	4,504
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	-	3,000,064	35	△3,000,029
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	217,393	434,787	217,393
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	-	972	1,854	882
退職手当引当金繰入額	-	9,148	4,524	△4,623
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	-	3,737,974	611,709	△3,126,265
経常収支差額(a)-(b)=(c)	-	△237,699	△410,641	△172,942
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	12,389,693	-	△12,389,693
特別収入 小計(d)	-	12,389,693	-	△12,389,693
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	12,389,693	-	△12,389,693
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	-	12,151,994	△410,641	△12,562,635
一般財源充当額	-	13,664	21,543	7,879
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	-	12,165,658	△389,098	△12,554,756

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
その他経常収入	土地賃借料等相当額 151,069千円 サッカースタジアム大規模修繕費積立金 50,000千円
物件費	使用料及び賃借料(土地賃借料他) 151,069千円 旅費(スタジアム所有自治体等連絡協議会) 54千円
維持補修費	工事請負費(LEDサイン(銘板)設置工事) 4,838千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

区分	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	-	3,500,276	201,068	△3,299,207
行政サービス活動支出	-	3,511,391	172,611	△3,338,779
行政サービス活動収支差額	-	△11,115	28,457	39,572
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	2,549	50,000	47,451
投資活動収支差額	-	△2,549	△50,000	△47,451
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	-	△13,664	△21,543	△7,879
一般財源充当額	-	13,664	21,543	7,879
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	投資活動支出:サッカースタジアム基金積立金
----------	-----------------------

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
入場者数1人当たりのコスト	平成26年度	—	—	経常収入は、指定管理者からの土地賃借料等相当額及び大規模修繕費積立金の納入であり、その額を土地賃借料等として支出し、また、サッカースタジアム基金へ積み立てたため、経常費用から経常収入を除いた額で単位当たりのコストを算出しています。結果、入場者1人当たり571円のコストがかかっています。
	平成27年度	108,768人	2,185円	
	平成28年度	719,276人	571円	
	平成26年度	—	円	
	平成27年度	—	円	
	平成28年度	—	円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	972	1,854	882
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	972	1,854	882
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	12,172,299	11,737,513	△434,787	その他流動負債	-	-	-
土地	-	-	-	固定負債	8,218	11,648	3,430
建物・工作物	12,172,299	11,737,513	△434,787	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	8,218	11,648	3,430
無形固定資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	9,190	13,502	4,312
建物・工作物	-	-	-	純資産	12,163,109	11,774,011	△389,098
建設仮勘定	-	-	-	地方債	-	-	-
重要物品	-	-	-	長期借入金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	退職手当引当金	8,218	11,648	3,430
投資その他の資産	-	50,000	50,000	リース債務	-	-	-
出資金	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	負債の部合計	9,190	13,502	4,312
基金	-	50,000	50,000	純資産	12,163,109	11,774,011	△389,098
徴収不能引当金	-	-	-	地方債	-	-	-
その他債権	-	-	-	長期借入金	-	-	-
資産の部合計	12,172,299	11,787,513	△384,787	退職手当引当金	8,218	11,648	3,430
				リース債務	-	-	-
				その他固定負債	-	-	-
				負債及び純資産の部合計	12,172,299	11,787,513	△384,787

Ⅲ 財務構造分析

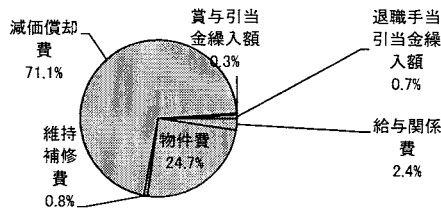
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用	非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	月平均	年間従事日数	実人数	
	1.67 人	人	日	人	20,876
給与関係費等	20,876 千円	千円	千円	千円	
内、時間外勤務手当	3,575 千円				

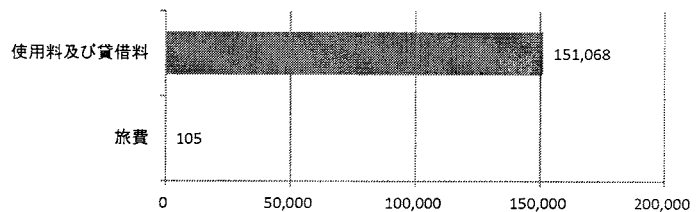
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	減価償却による減
基金	サッカースタジアム基金積立による増

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	市立吹田サッカースタジアム
取得年月日	平成27年(2015年)9月30日 竣工
建物・工作物の取得価額	12,389,693 千円
建物・工作物の減価償却累計額	652,180 千円
利用料金収入	- 千円

▽分析指標

分析指標	年度	平成27年度			差 B-A
		平成26年度	A	B	
施設維持補修費比率		-	0.0	0.0	0.0
施設老朽化比率		-	1.8	5.3	3.5
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		-	0.4	9.7	9.3
経常費用対公共資産比率		-	30.2	4.9	△ 25.3

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は53.9%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の約25%の物件費の99.9%は、スタジアム土地賃借料等であり、その同額を指定管理者から納入されています。また、将来の大規模修繕費用をサッカースタジアム基金に積み立てます。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

ガンバ大阪のホームスタジアムとして、プロサッカーの試合時の入場者維持・増加を図るとともに、スポーツ活動のみならず、地域振興や賑わいを目的とした利用等に施設を貸出すなど既存のスポーツ施設とは違った活用をすることにより、スタジアムをより身近に感じてもらい、また、市立吹田サッカースタジアムが市のランドマークとなるような魅力ある施設となるよう、今後とも取り組む必要があります。